

愛知教育大学での留学経験

愛知教育大学での一年間はあっという間に過ぎ去りました。この一年間の生活は、私の人生の中でも最も貴重な時間のひとつであり、これから日本への留学を考えている後輩たちの参考になればと思い、ここで私の経験や感想を共有したいと思います。これを読んだ皆さんの留学生活も、充実したものになることを願っています。

愛知教育大学での学び

交換留学の最も重要な目的は、やはり学業です。愛知教育大学は、小学校・中学校の教師を育成することに特化した大学であり、一般的な総合大学や研究機関とは異なり、授業内容が小・中学校の教育と密接に関連しています。講義では、日本の小中学校の教科書を直接参照し、最新の教育方法を取り入れながら授業が進められることが多く、理論だけでなく実践的な教育力を養うことが重視されています。これは、将来教師を目指す人にとっては非常に魅力的なカリキュラムですが、学問的な研究を深めたい人にとっては、やや物足りなく感じるかもしれません。しかし、これは決して悪いことではなく、愛知教育大学は「現場で活躍できる教師の育成」を重視しているため、「実用性のある教育」に力を入れているのだと思います。

授業では、日本特有の教育理論や専門用語が多く登場するため、特に教育心理学や教科書指導法の授業では、専門用語の理解に苦勞することもありました。このような場面で、とても助けになったのが「学伴制度」です。私も、留学開始後すぐに現地の学生と学伴として交流し、授業の後に分からない言葉や概念について一緒に話し合うことができました。また、学伴が参考書を借りるのを手伝ってくれたり、課外の勉強会に誘ってくれたりしたおかげで、日本人学生との交流の機会も増えました。もし学伴制度がなかったら、専門的な内容の理解にもっと時間がかかったかもしれません。そのため、これから愛知教育大学に留学する人には、学伴制度を積極的に活用することを強くおすすめします。

日本語学習のサポート

愛知教育大学では、日本語の授業も充実しており、「単位がつかない補講」と「単位がつく日本語 I~IV」の2種類のコースが用意されています。補講では、基礎的な日本語を学ぶだけでなく、日本語能力試験（JLPT）の対策も行われます。さらに、レベル別に初級・中級・中上級・上級のクラスが設けられており、それぞれの留学生のニーズに合った学習が可能です。日本語に自信がない人や、短期間で実力を向上させたい人には、ぜひ受講をおすすめします。担当の先生方は、日本語を第二言語として教える経験が豊富で、一人ひとりの弱点を見つけ、丁寧に指導してくれます。

一方、日本語 I～IV は、言語学的な視点から日本語を学ぶ内容となっており、より高度な知識が求められます。そのため、一定レベルの日本語力が必要になりますが、語学力をさらに伸ばしたい人や、学術的に日本語を学びたい人にはぴったりのコースです。自分の語学力に自信があり、なおかつ単位が必要な場合は、挑戦してみる価値があるでしょう。

国際交流会館での生活

愛知教育大学の留学生は、大学が提供する「国際交流会館」に滞在することになります。留学生用の寮は、一人部屋が中心で、各部屋にはエアコン、トイレ、キッチンが完備されており、基本的な生活には困りません。お風呂は各フロアの共用設備ですが、定期的に清掃が行われているため、清潔な環境が保たれています。最初は共用の浴室に少し抵抗がありましたが、次第に慣れ、むしろルームメイトたちとの交流のきっかけになりました。

また、寮の1階には「交流ラウンジ」があり、ここが最も賑やかな場所です。ここでは、歓迎会、文化交流イベント、言語交換の会などが頻繁に開催されており、留学生同士や日本人学生と交流できる絶好の機会になっています。特に興味深かったのは、さまざまな国の学生が集まる中で、日本語が共通のコミュニケーションツールになっていたことです。お互いの母語が異なるため、日本語を使ってジェスチャーを交えながら会話することで、自然と語学力が向上しました。

費用とアルバイト

日本での留学生活には、ある程度の費用がかかります。特に、留学初期には、家賃の保証金、保険、清掃費、寝具代、生活用品の購入など、多くの出費が必要になります。ただし、家賃（約 15,000 円/月）と保険（約 2,300 円/月）以外の多くは一度支払えば済むものです。食費に関しては、外食すると1食あたり約 1,000 円かかりますが、自炊すれば1食 200～500 円ほどに抑えられるため、節約のために料理を覚えるのも良い選択です。

今年から、愛知教育大学では条件を満たせば留学生のアルバイトが許可されるようになりました。私はこの1年の間にアルバイトをする機会はありませんでしたが、日本での仕事に興味がある人にはぜひ挑戦してほしいと思います。

校外活動と異文化体験

愛知教育大学では、大学の外でもさまざまなイベントや活動が用意されています。例えば、知立市や刈谷市での浴衣体験、スピーチコンテスト、ホームステイプログラム、Aichi Value 企業のインターンシップ、職業体験ワークショップなどがあります。これらの活動を通じて、日本の社会や企業文化、家庭文化をより深く理解することができます。

最後に

この1年間で、私は日本語の向上だけでなく、日本の教育システムや文化についても多くを学びました。最初は日本語での授業についていくのが大変でしたが、学伴や日本人学生との交流を通じて、次第にスムーズにコミュニケーションが取れるようになりました。また、寮生活や課外活動を通じて、多くの貴重な経験を積むことができました。

もし、あなたが日本の教育に興味を持ち、より実践的な学びを求めているなら、愛知教育大学は最適な留学先の一つです。この経験が、あなたにとっても素晴らしいものになることを願っています。